

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 十日町福祉会	代表者	尾身 晴夫	法人・事業所の特徴	十日町市の中心部に位置する事業所の利便性を活かして、街中や地域での行事にご利用者も参加しています。また、地域の人たちが住み慣れた地域での暮らしが継続していくことができるように相談等も受け入れをし、積極的に対応していきたいと思えます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 事業所三好園四ツ宮	管理者	春川 さとみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	3人	0人	0人	2人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	令和5年度の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	令和6年度の改善計画
A. 事業所の自己評価の確認	定期的なケア会議を開催し、在宅生活の継続を支援していきます。	事業所内ではケア会議の開催はありました。	評価の終了点をどこに置くかで、評価が変わってくるのではないかと。中間評価をすることで、職員が取り組めるようになるのではないかと。PDCA サイクルを意識した取り組みをしたらどうか。	事業内容について職員が共通理解を持てるよう取り組みます。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策を行いながら、ボランティアの受け入れ等、地域との繋がりに取り組みます。	外出等ができなかったこともあり、室内装飾等で季節を感じてもらえるようにしました。	玄関にソファが置いてあるのがいいという意見があった。	季節を感じる環境づくりや、外出機会を多く持ちます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との繋がり方を再スタートとして捉えて、積極的な発信と地域に出向いていきます。	積極的に地域に出向いたり、発信したりはできませんでした。	施設のスペースを貸し出し始めたので、これからつながりができていくと思う。	地域の方々から施設を活用してもらえるよう働きかけをします。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事やイベントへの参加を積極的に行います。	地域行事には可能な範囲で参加しました。大きな行事のみとなりました。	施設の職員が地域に出向いているか判断できない。	地域のイベントの情報収集をし、外出等の企画を定期的に立案、実行していきます。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の取り組みや必要に応じた事例検討をして、施設の取り組みに生かしていきます。	地域の取り組みについて、委員の皆さまから貴重なご意見をいただきました。	特にありませんでした。	地域の情報を得ながら、施設の役割を意識し、地域で活用してもらえよう取り組みます。
F. 事業所の防災・災害対策	施設の防災計画等を配布や、総合防災訓練への参加を依頼し、地域との連携を図ります。	コロナ禍以降、ようやく地域の消防団へ総合防災訓練の参加を依頼し、意見や助言をいただきました。	特にありませんでした。	自然災害時の対策強化、総合防災訓練への参加依頼し、地域との連携を協力体制を作ります。

